

# 広がる街ぐるみの 見守りサービス



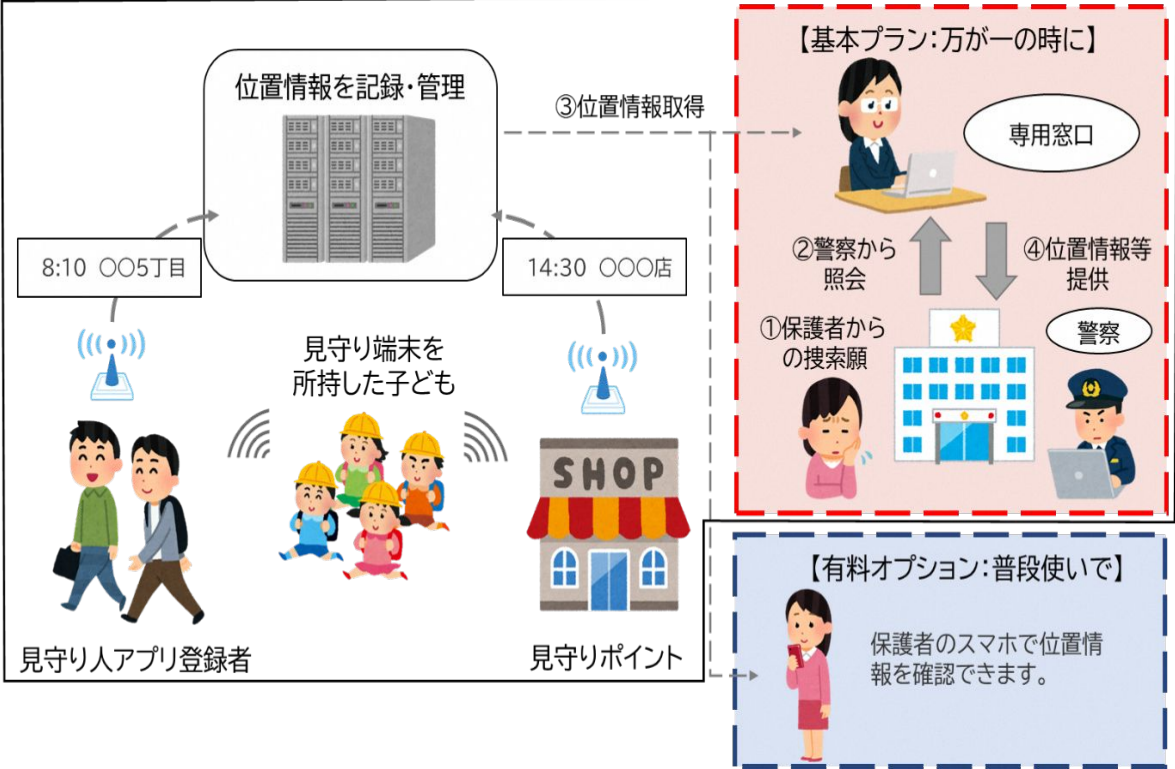
# 全国41自治体エリアでICTを活用した見守りサービスを運営 (2025年9月現在)

自治体・地域住民・企業が連携する街ぐるみの見守りサービスを運営しています。警察とも協力し、行方不明等有事の際には位置情報履歴を活用して早期解決・保護を実現し、**子ども(保護者)への経済負担なく、等しく安心を提供することが可能です。**

## 見守りの仕組み

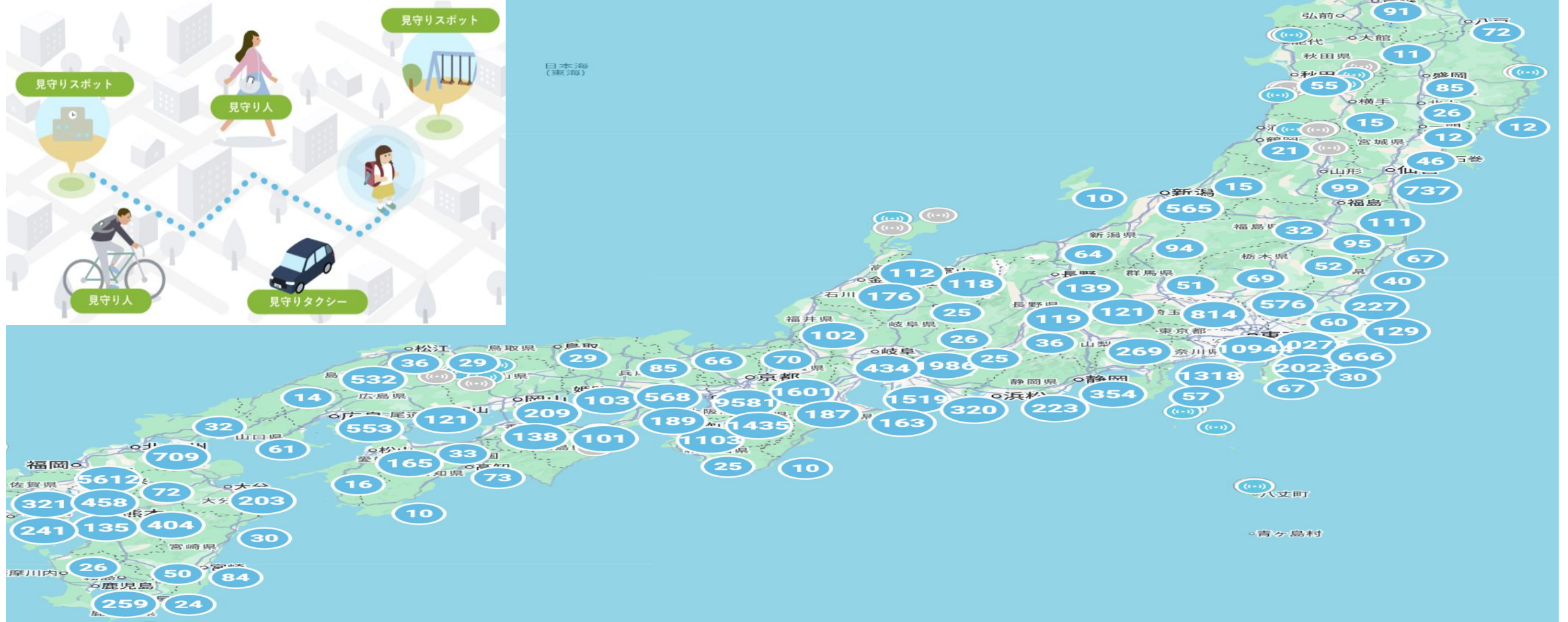
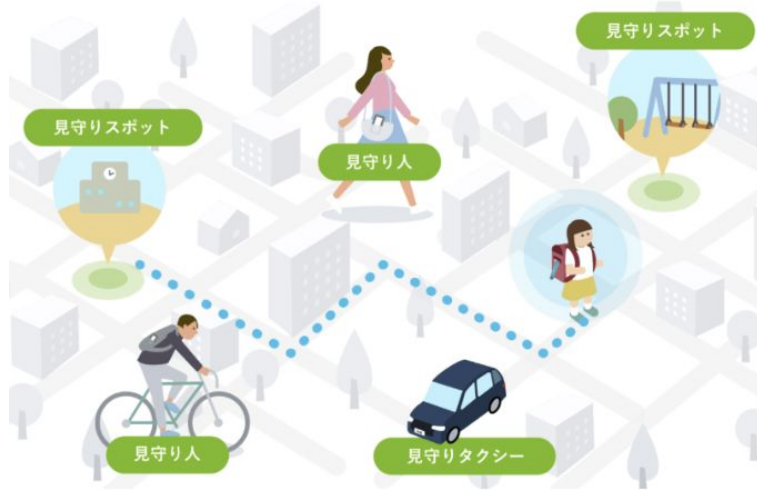


## 自治体や警察と連携し、基本プラン(無料)等しく保護者へ提供



# 全国共通で利用可能な国内最大規模のインフラを保有

自社開発の専用受信機を自治体と連携し整備することに加え、独自の民間ネットワークにて、見守りスポットや見守りタクシーによる位置情報ネットワークを保有。  
全国共通で利用可能な見守りプラットフォームを構築しています。



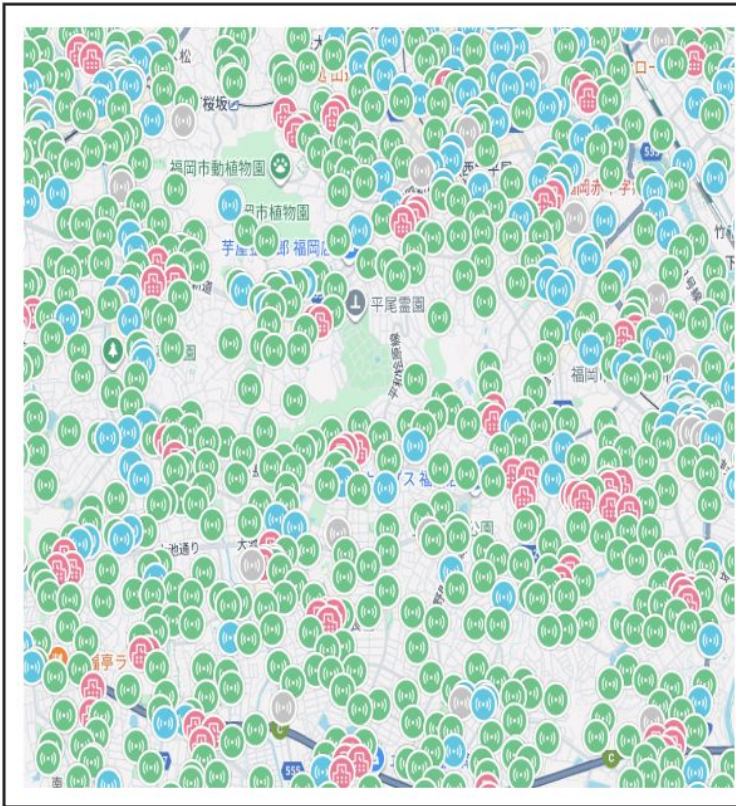
# 見守りから街全体のDXへ

特許取得の仕組みで、住民が手軽に参加できる“ながら見守り”を実現しています。  
また、**見守りインフラや集積データを活用し、子ども見守りから多様なスマートシティサービスへ拡張**する取り組みを進めています。

スマートフォンで手軽に住民が「ながら」見守りに参加



「インフラ」「データ」を活用することでスマートシティの実現に寄与



## ■ インフラを転用した住民サービス



- ・高齢者向け見守り
- ・保育園向け園児見守り
- ・自転車の盗難対策

## ■ データを活用した取組み

- ・交通事故抑止の取組み
- ・防犯への取組み
- ・防災への取組み



## 導入効果(他市導入事例一例)

### 大阪府箕面市



2016年の運用から9年。防犯カメラの設置場所へも見守り基地局を設置し、「防犯カメラ・地域見守り隊・見守りシステムotta」の相乗効果で、**子どもへの声かけなど不審者情報やひったくりが半減。**

2025年現在、約85%の保護者が利用しています。

### 佐賀県佐賀市



平成19年から取り組んでいる「子どもへのまなざし運動」の中の活動の一つとして位置付け、より安全で安心な街づくりに寄与。「**ながら見守り**」も積極的に推進し、2025年現在、ottaの仕組みで平均して1日13人の地域住民から子どもたちが見守られています。

### 長崎県島原市



従来の登下校通知システムから、**児童の安全をより確実に確保し保護者の安心の強化を目的にottaシステムへ移行。**運用4年目を迎え、**低学年児童の90%以上が利用しています。**また、見守り人の普及についても自治会での周知など継続的に普及啓発をしています。